

わ
『環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成18年 8月24日	
		作成部署	乙訓土木事務所	
事業名	地方道路交付金事業	構想番号	構-18-1	
		地区名	長岡京市今里蓮ヶ糸~井ノ内頭本地内	
概算事業費	31.4億円	事業期間	平成9年度~平成21年度	
事業概要	L=640m W=22.0m			
関連する公共事業	なし			
ガイドライン		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
主要な評価の視点				
地球環境・自然環境	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化 (CO₂排出量等) 地形・地質 物質循環 (土砂移動) 野生生物 ・絶滅危惧種 生態系 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>・現道は交通量が多い地域にもかかわらず、幅員が狭いため、離合による低速走行等がCO₂の排出量増加の一因となっていることから、この改善を図る必要がある。</p>	<p>・道路の幅員拡幅により、交通を円滑化し、渋滞の緩和によりCO₂の排出量の削減を図る。</p>	△
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> 水環境・水循環 大気環境 土壌・地盤環境 騒音・振動 廃棄物・リサイクル 化学物質 粉塵 電磁波・電波・日照 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>・現道は幅員が狭く、車の離合困難による速度低下と渋滞発生で、排気ガスの排出が増加する等、沿線の生活環境に悪影響を及ぼしているため、当該地域周辺での排出量の削減を図る。</p>	<p>・道路の幅員拡幅により、交通を円滑化し、周辺地域における排気ガス排出量の総量を削減する。</p>	△
地域個性・文化環境	<ul style="list-style-type: none"> 景観 里山の保全 地域の文化資産 伝統的行祭事 地域住民との協働 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>・計画路線の周辺は、一部に竹林などが残る緑豊かな住宅地であるため、緑地の減少による景観や環境の変化を極力さける必要がある。</p>	<p>・現道を活用しながら、緑地の伐採範囲をできるだけ減らす。</p> <p>・隣接する民地との擦り付けを構造物でなく植栽することにより、周囲の緑地面積を増やす。</p>	△
地域の環境像	<p>施工周辺は、地域のシンボルともいえる竹林等が残された緑豊かな住宅地であるため、事業に際しては、緑地保全による周辺の景観や環境を維持していく必要がある。</p>			
特記事項	なし			